

【これまでの利用】

- ◆社会見学
- ◆自主研修

自由見学

興味・関心に合わせ
自由に見学

【新学習指導要領】より
『博物館や科学学習センターなどと連携、協力を図りながら、それらを積極的に活用するように配慮すること。』

詳しくは科学館 HP を
ご覧ください

【これからの利用】

- ◆展示物・標本などを活用した学習活動へ

モジュール学習

【展示物・標本等を利用した授業】

- ◎所要時間 10分～30分
- ◎指導者 引率教員（原則）

展示物・標本などを“見る”“触れる”ことで、実感を伴った理解へ

【実践例】柴田小学校（12名）

子供たちは自宅近くの小石を数個持参して学習に取り組みました。

【川の様子】

川の模型を使い、上流、中流、下流のイメージをつかませる。

【上流・中流・下流での石の様子】

岩石標本（シツ入り）を使い、上流、中流、下流での石の形、大きさ、表面の様子などを観察することを通し、特徴を理解する。

【石の名前を当てよう】

自宅近くから持ってきた石を『阿原の小石』標本、及び、4階『岩石標本』と見比べながら、石の名称を自分で決定する。

【まとめ】

- ◇川は上流・中流・下流で様子が違うことが分かる。
- ◇川の石は上流・中流・下流で、形、大きさ、表面の様子が違うことが分かる。
- ◇石には名称があり、でき方もそれぞれ違うことが分かる。
- ◇持参した石は『 』という名称の石で、『 』でできたものであることが分かる。

【モジュール学習実施までの手続き】

①事前連絡

科学館での学習の位置づけ、目的がはっきりしましたらお電話ください。

②下見・事前打ち合わせ

目的に合わせた内容・進め方の確認・研修を行います。

③事前指導

活動内容や注意事項を事前に子供たちへお話しください。目的意識が芽生え学習への意欲が高まります。

④科学館での学習（モジュール学習）

⑤事後指導・まとめ

科学館での学習内容と理科の学習とのかかわり方を振り返る

【モジュール学習実施に向けての留意点】

モジュール学習を行う際に大切なことは、科学館を活用することで学習効果が期待できる単元はどこなのかを整理することです。科学館での学習の位置づけを明確にし、子供たちに目的意識を持たせた上で科学館を活用させることが、効果的な利用においては欠かせません。

※ 興味を持たれた先生は、仙台市科学館モジュール学習担当までご連絡ください。